

## 祭りと衣装

## パプアニューギニア・シンシンからイメージしたファッション

a2200418 杉原由貴

## 【制作意図】

私は祭りと衣装というテーマをもとに、パプアニューギニアのシンシンという祭りに着目しました。パプアニューギニアには言葉や習慣の違った部族が八百もいて、シンシンの衣装も各部族によって異なります。なぜパプアニューギニアのシンシンを調べようと思った理由は、自らの体をすべて自然の物で装飾し、あらゆるものを使いボディペイントした衣装にとっても興味をもったからです。このことから、私は熱帯地方の雄大な自然に囲まれたパプアニューギニアで自然と一体になって繰り広げるエネルギッシュな祭りをもとに、アレンジして現代の活力ある服装を造形することにしました。

## 【制作過程】

テーマ設定

資料収集

イメージ展開

スタイル画制作

パターン制作

材料購入

裁断・仮縫い

補正

本縫い

完成

## 【デザインコンセプト】

スタイルA 「(山間部のシンシン)勇ましいデザイン」

スカートにエスニック調の布を使い、上着はシンプルなデザインにして、首飾りなどのアクセサリーで、華やかさを出しました。全体に布を巻いて山間部のシンシンの勇ましいワイルドさを表現しました。

スタイルB 「(海辺のシンシン)喜びのデザイン」

スカートは腰ミノをイメージしてマクラメという技法で編みものにしました。3色の毛糸を使い、配色を暖色系の奇抜な色にして、シンシンの衣装の色鮮やかさを表現しました。

スタイルC 「極楽鳥をもとにしたデザイン」

上衣をブラウスにして、前身頃の中央部分を華やかにフリルで装飾し、ショールは長めにして、下の部分を裂いて、外側に流れるようにはねさせ、極楽鳥のイメージを表現しました。

## 【考査】

パプアニューギニアの服装イメージを表現することはとても難しかったです。そして、スタイル画からパプアニューギニアのシンシンのイメージを表現するために、素材や色、形を立体的に造形していく作業は大変でした。また、縫製の基礎をしっかりと学ばないと服を一着作り上げるといことは容易ではないということに改めて実感しました。苦労しましたが、シンシンをイメージした服装が出来たことは嬉しかったです。この経験を今後にかして、モノづくりをしていきたいです。



スタイルA



スタイルB



スタイルC